

映画 GIFT を贈りたくなるアイデア



MOVIE WALKER

大迫力のスクリーン。
体を震わせるサウンド。

映画館で映画を観ているとき、
私たちはしばし現実のことを忘れて
物語の世界に没入することができます。

映画 GIFT で映画を贈ること、それはつまり
日常を忘れるひとときという体験を贈ることです。

それでは、そんな日常を忘れるひとときを誰よりも
必要としているのは、一体どんな人たちでしょうか？

それは、小さい子どもを持つお母さんです。

平日 / 休日問わず
1 日に取れる自由時間の平均

1.71時間^{※1}

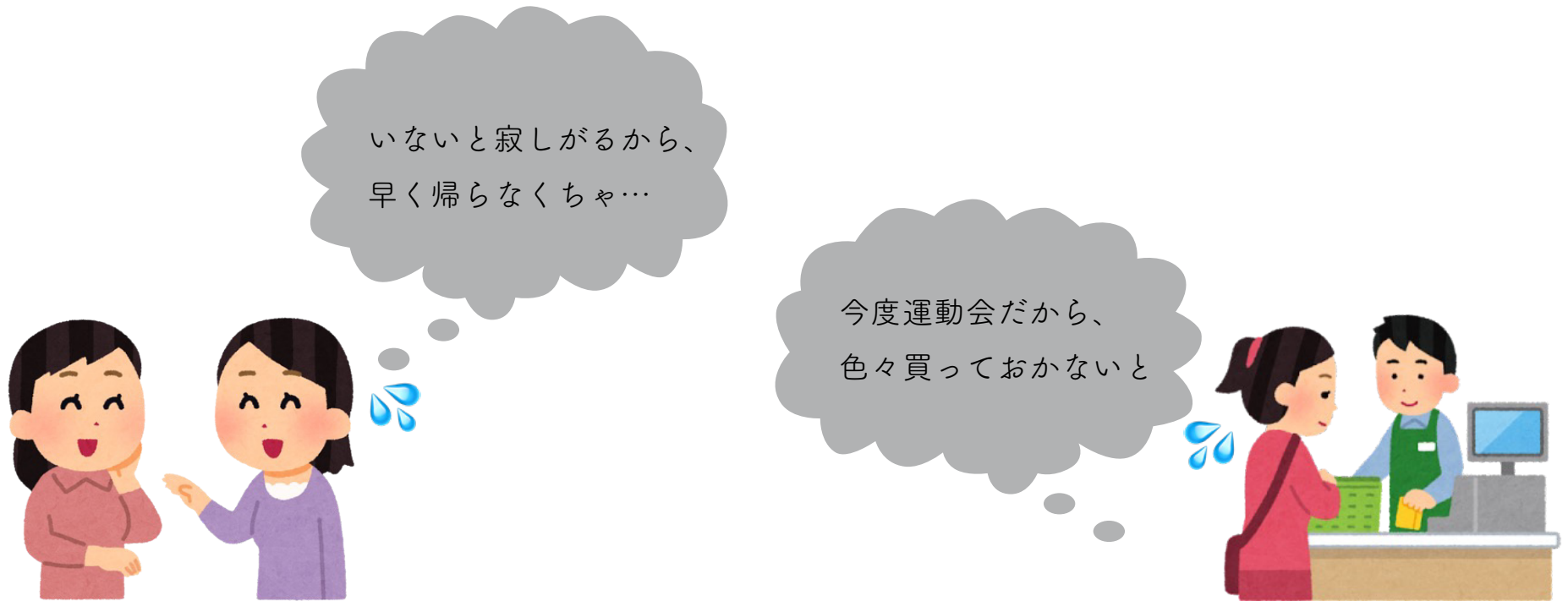


一人・大人同士で
観たい映画に行けた割合

36%^{※2}

家事・育児・仕事に追われ、ひとり時間が取れていません。
→その結果、多くのお母さんが映画館に行くのを諦めています。

それに、貴重なひとり時間ができても
つつい子どもを優先して動いてしまいがち。



「母」という役割を休憩するのは、意外と難しい。
しかしそれでは、お母さんの疲れは溜まっていく一方です。

目標

忙しいお母さんにこそ、映画館に来て
日常を忘れるひとときを過ごしてほしい。

課題

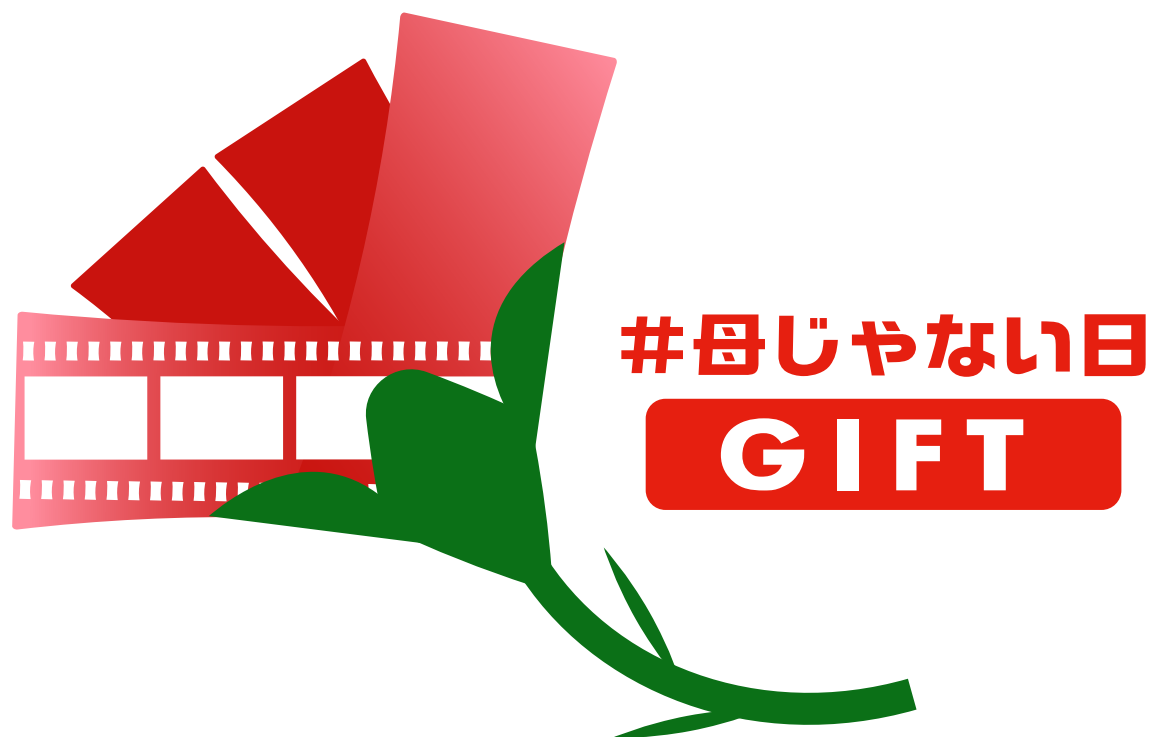
でもお母さんにはひとり時間が足らず、
時間ができても子どものことを優先してしまう。

着眼点

母の日はお母さんに贈り物をする日。

お母さんが本当に欲しいと思っているのは、

母であることを休憩できるひとり時間なのでは？



母の日のギフトに、「母じゃない日」を贈ろう。

映画 GIFT を母の日のギフトに。

名探偵や、宇宙飛行士。
恋する乙女や、スーパーヒーロー。

映画に没入しているとき、
私たちは自分ではない誰かになって、
その人生を追体験することができます。

#母じゃない日 GIFT は、
物語の世界に没入する映画体験
＝「母であることを忘れられるひとり時間」
を母の日のギフトにするアイデアです。



#母じゃない日 GIFT を認知してもらうには？



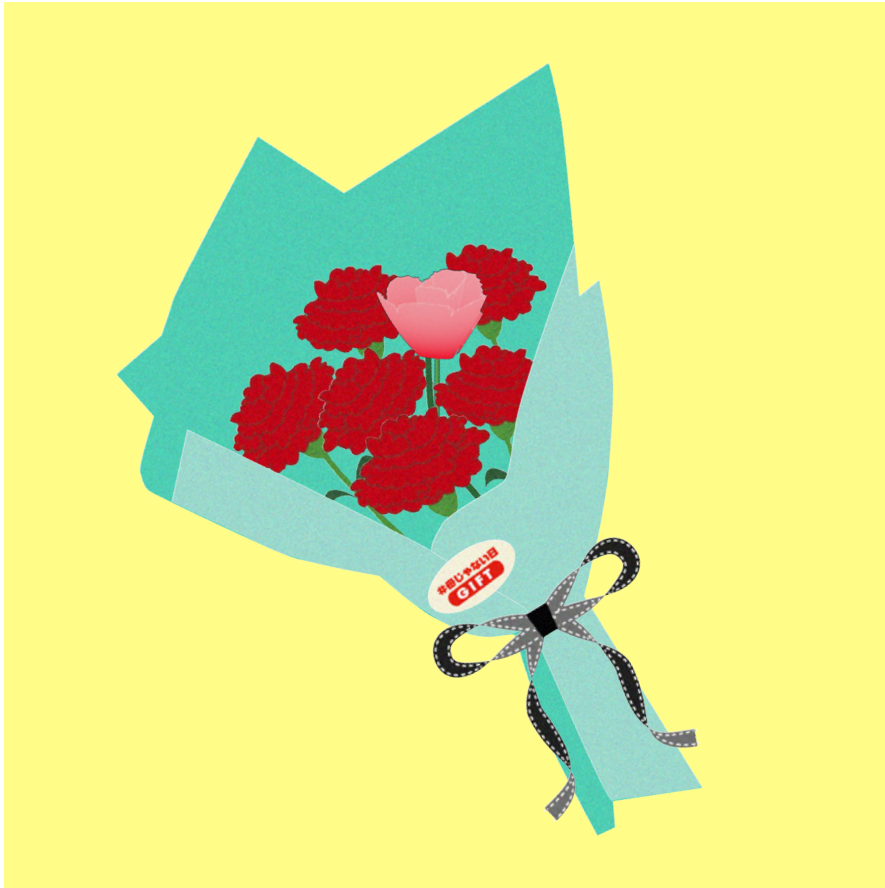
母の日は、花屋に人が集まる日でもあります。

映画館や駅周辺など、ターゲットになりうる人（贈り手）
が通る場所に、#母じゃない日 GIFT を販売する花屋を出店します。

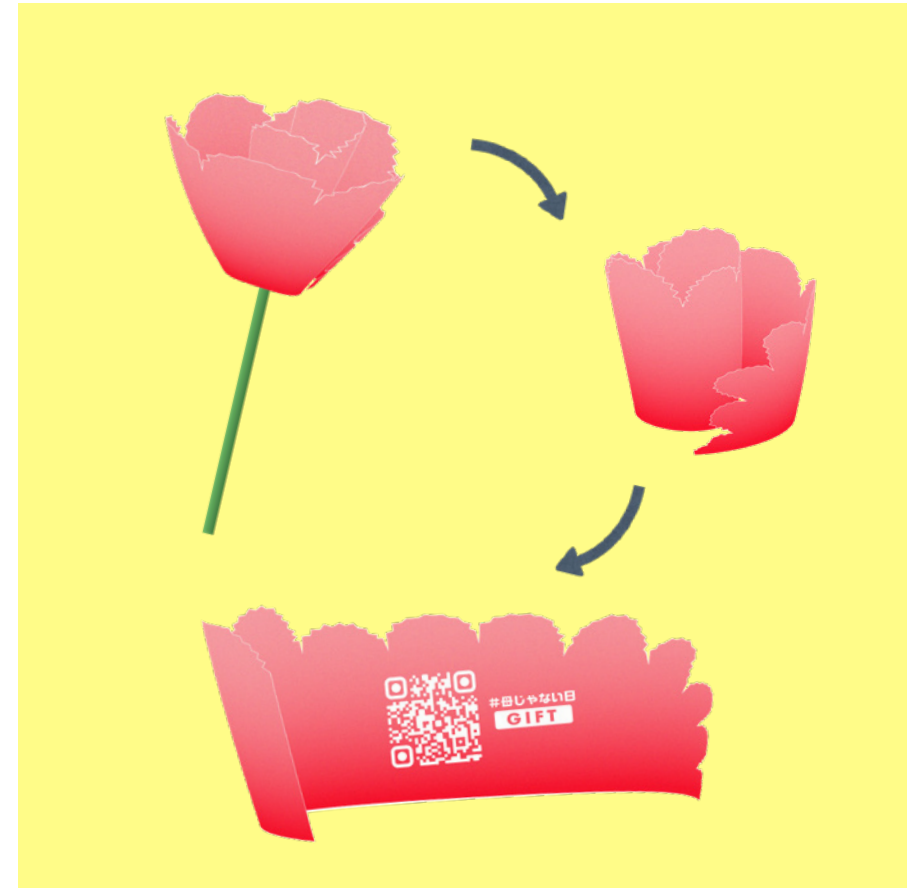


QR から直接
#母じゃない日
GIFT の購入に
進むことも可能

① ペーパークラフトの花が一輪入った
ブーケを販売。母の日の定番である花と
セットにすることで、手に取って貰います。



② ペーパークラフトの花を開くと、
#母じゃない日 GIFT の QR コードが出現。
花と一緒にサプライズで映画を贈れます。



街の花屋さんでも同様のブーケを置いてもらい、
#母じゃない日 GIFT へのタッチポイントを増やします。

#母じゃない日 GIFT は、

忙しくて観たい映画を諦めている
お母さんが映画館へ行くきっかけを作る

と同時に、

映画館ならではの没入体験によって
「母であることを忘れる時間」を贈る

ことができるギフトです。

#母じゃない日 GIFT を入り口に、
映画 GIFT は「日常を忘れるひととき」
を贈れるギフトなんだということを
多くの人に知ってもらいます。

